

# 東成瀬 図書館だより

〒019-0801

秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野 8-1

TEL 0182-38-8711 FAX 0182-38-8712

E-mail [narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp](mailto:narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp)

2022.1月号 No.78

発行

東成瀬公民館図書室

## ☆令和4年2月の特集&新着案内

### 〈一般書〉

#### ◎「ミステリー小説特集」

硝子の塔の殺人  
六人の嘘つきな大学生  
忌名の如き貪るもの  
invert 城塚翡翠倒叙集  
蒼海館の殺人  
機龍警察白骨街道  
兇人邸の殺人  
雷神

知念 実希人  
朝倉 秋成  
三津田 信三  
相沢 沙呼  
阿津川 辰海  
月村 了衛  
今村 昌弘  
道尾 秀介

このミステリーがすごい!2022年版『このミステリーがすごい』

編集部

### 〈児童書〉

#### ◎「スイーツ絵本をめしあがれ♪」

がまんのケーキ  
となりのおやつ  
ノラネコぐんだん ケーキをたべる  
パンツいっちょめ  
クマとこぐまのコンサート  
あまがえるりょうしゃ ちかたんけん  
ティラノサウルスのほらぺこないちにち  
とんとんとん おとがしますか

かがくい ひろし  
DJ みそしると MC ごはん  
工藤 ノリコ  
荻田 澄子  
デイビッド・リッチフィールド  
松岡 たつひで  
竹下 文子  
木坂 涼

## ◇今月のオススメの一冊◇

### 『黒牢城』

米澤 穂信 / 著



時は本能寺の変より四年前。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求める…4大ミステリーランキングすべてを制覇した史上初の作品。

### 『ブタのドーナツ屋さん』

谷口 智則 / 作



丘の上にある、ドジであわてんぼうでおっちょこちょいのブタのドーナツ屋さん。いつもお客さんがいなくてヒマなので、ダラダラと過ごしていました。でもある日、急に50個の注文が入り大慌て。急いで作り始めますが、さてさてどうなるやら…。物語が進むにつれて、探し絵をしたり数を数えたり。いろいろな要素が詰まった楽しい絵本です。

※ 電話予約もできますので、お気軽にお尋ねください

## ☆図書室利用案内☆

### 2月の休館日

2/6(日) 11日(祝)

20日(日) 23日(祝)

開館時間

午前9時30分～午後5時30分

休館日

・第1、3、5日曜日 ・祝祭日

・年末年始

図書の貸出

10冊まで

視聴覚資料

3点まで(DVD・CDなど)

貸出期間

3週間

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★



# お知らせ

## なるせ児童館図書室 2021 貸出ランキング

2021 年に貸し出された回数の多かった本で

- |     |                         |        |
|-----|-------------------------|--------|
| 第1位 | 押し、燃ゆ                   | 宇佐見 りん |
| 第2位 | 白鳥とコウモリ                 | 東野 圭吾  |
| 第3位 | ブラック・ショーマンと<br>名もなき町の殺人 | 東野 圭吾  |
| //  | 52ヘルツのクジラたち             | 町田 そのこ |
| 第5位 | お探し物は図書室まで              | 青山 美智子 |
| //  | 八月の銀の雪                  | 伊与原 新  |
| 第7位 | 逆ソクラテス                  | 伊坂 幸太郎 |
| 第8位 | 魂手形                     | 宮部 みゆき |
| //  | 今度生まれたら                 | 内館 牧子  |
| //  | 小説8050                  | 林 真理子  |

たくさんのご利用、ありがとうございました。  
2022 年も話題の本を取り揃えています。リクエストもお待ちしております。



# —第9回—

## わたしのとっておきの一冊

地域の常連さん **鈴木 充さん** からのオススメ



### 『 蝉しぐれ 』

藤沢 周平 / 著  
文藝春秋

17 年前に読んだ「蝉しぐれ」が私に時代小説の面白さを教えてくれた。この本との出会いを契機に時代小説、とりわけ藤沢周平の世界に引き込まれた。

東北の小藩の下級藩士・牧文四郎は理不尽な権力により大切な人を失う。心を寄せていた幼なじみのふくは藩主の側室となり、尊敬する父は藩の派閥抗争の巻き添えで切腹をする。

剣の修行と道場仲間の友情を心の支えに、反逆者の子という汚名に耐え、不条理な制約の中で試練を克服し、前を向いて生きていく。やがて、一人前の武士に成長した文四郎は、世継ぎ騒動で窮地にあるふくを救い、陰謀の首謀者を追い詰めて長年の汚名を返上する。やり場のない怒りが一掃される胸のすく場面だ。そして、心打たれるラストシーンへと続く。(読んでみて実感してください。)

当欄への寄稿にあたり再読をした。3 回目であるにもかかわらず、読中に衝き上げてくる感動がある。これは主人公の潔い生き方を通して、あるべき人間の品性や誠実性を問いかける作者の強いメッセージが伝わってくるからである。

遠い幼い頃にかえったようななつかしい郷愁で清々しい読後感が心に残る。

🍀 ぜひ一度読んでみてください。



## 読みかたりグループ

### 『つくしんぼ』コーナー

🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷  
 🍷🍷🍷🍷🍷🍷  
 おはなし会  
 2月5日(土)  
 午前10:30~11:00  
 🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷

🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷  
会員 佐藤 さつき さん

### 会員のつづやき



新しい年がはじまり、今年は穏やかに過ごせたらなあ…とと思っていましたが、新型コロナウイルスの変異株が拡大して、ますます「お家時間」が多くなりそうです。私の今のお家時間の過ごし方は、編み物(カギ針)です。NHK 教本「すてきにハンドメイド」を参考に編み物を楽しんでいます。今、老眼に鞭打ってリブ編みのスヌードに挑戦しています。

